

「ロータリーに入会して」

三国大吾 会員



私は、一応歯科医師を営みとしております。29歳の時に、元山の駅前で街金のような会社から借金して歯科医院を開設いたしました。私の両親は歯科医師でありませんし、松戸に血縁者もいませんでした。自分の医院を開業しながら、木曜日と日曜日の休日は

熊谷までアルバイトにいて生活費を稼ぐ生活を一年間以上続けました。そのころ、ようやく馬橋のワンルームアパートを借りました。それまでは主に医院に寝泊りをするような住所不定者のような生活でした。学生時代から多くの先輩や友人に助けてもらいながら生活してきた私は、いつか恩返ししたいという気持ちを常に強く持っていました。大学のそばで開業した理由もそのチャンスが多くあるだろうという目論見からです。開業して2、3年後には幸運にも、一人では診きれないほどの患者さんに来ていただく日が続くようになり、後輩の先生とともに仕事をするようになりました。朝九時半の開院から、昼飯もほとんど取らずに夜九時過ぎまで診療を続け、カルテや模型の整理など片付けを終えて、直ぐにその日の反省会と勉強会という一日が終了するころは日付が変わっていました。ようやく、夕飯をとろうにも店が開いていませんので、所謂飲み屋でよく飯を食べていました。諸先輩がお帰りになる頃の時間に、やって来て飯を食べながらドンちゃんやるのですから同業者の評判は更にすこぶる悪かったと思います。細かく言うと、飯を頼むけど指名もしなければ延長もしませんので実際にはあっさりしたものです。厳しい指導に耐える後輩の歯科医師に、対価に相当する給与を与えたいと思いました。しかし、個人開業医に来ていただける患者はその院長を信頼して来院するものですから、歩合給にも限界があることが分かりました。そこで、信頼するに堪える先生には診療所を任すことで、その先生の更なる技術の研鑽の場とそれに相応する給与を支払えるのではないかと考えました。勿論、リスクがあるのは承知でしたが、もともとお金に執着しなかったことと、その時には銀行さんが信じられないような金利で（開業時の金利に比較しての無知によるもので普通の金利です。）お金を貸してくれるというので強い後ろ盾になりました。東京の江東区のその医院も、患者さんの支持を得ることが出来ました。松戸の本院にも、江東区の分院にも若い代診の先生がやって来て、厳しい修行に耐え頑張っている姿を見ると、もっと彼等にも機会を与えたいと考えるようになりました。普段、分院のほうにはそれ程お邪魔しないのですが、忘年会などの行事には必ず出席させてもらいまし

た。そこに、出席している院長を中心としたスタッフとその家族に触れることによって、私のお金の使い方と考え方は間違っていないと確信しました。そして、歯科医師の子弟でないもの、またはそうであっても次男や、いろんな理由で親の後を継がないものなどで、優秀な歯科医師に院長としての職務を与えることを事業として行うようになりました。医院の中には、院長の希望でお譲りしたのもありますが、現在では医療法人として13の歯科医院を運営しております。振り返れば、後輩の歯科医師の為にやってきたことですが、今は患者のために法人を展開することを目的として事業を考えております。何時でも、どこでも同じサービスを受けられるような歯科医院があったらいいと思っています。術者の知識や技術に左右されることなく、安心してブランドとして信用していただける歯科医院を多く作りたいのです。今の時代、情報を瞬時にして共有することが可能になりました。口の中の実際の状態をカメラで取り、レントゲンやCTの画像を配信することによって、以前のカルテをデータで管理し、模型を3D画像で表現することによって、医科学的な根拠を軸として医師や技術者の個人差によるイレギュラーを取り除きたいのです。国における歯科の教育方針も変化しました。今では卒業研修の一年間だけが実際に患者の口に触れる期間です。しかもそのうちの半分ないし、ほとんどを一般開業医に委託しました。つまり、実際の臨床技術を学ぶ場所は卒業のそれぞれの歯科医師にほとんど丸投げされていると言えます。勿論、優秀な歯科医師もいますが、そうでない楽な道を選ぶもの、己の欲望にのみ興味を持つものがあるのも事実です。彼等が厳しい修行の場を自ら選択すると思いませんか？ですから、保険皆治療の本邦でも歯科においてはひとつの症例に様々な治療方法が存在し医師先生などから不思議がられている所以であると思っております。私の今の夢は、できるだけ多く我々と理念を共有する歯科医院を作って、一人でも多くの患者さんに喜んでいただけるシステムを作成することです。私は臨床が大好きです。患者さんと話すことが好きです。患者さんが喜んでくれることが喜びです。それには大きい仕事も小さい仕事も易しい仕事もありません。けど、今は自分の喜びを封印して少しでも自分の理想とする歯科医院作りに自分の時間を割いています。私が直接診ることの出来る患者さんよりも、それが実現できればもっと多くの人を幸せに出来ると思っているからです。この思いが私の職業奉仕であります。

最後に紹介者でもある森田会員よりロータリーは「個で奉仕することが大切である」とお聞きしました。私はいま、金銭的に私の人生の中では最も恵まれた幸運な時期にあると思っております。人との比較ではなく、自分の人生において僅かですがそのようなことが出来る時間を戴いたと思っています。今まではチャレンジしている友人、知人にそのような機会があれば、できる範囲で奉仕をしてきましたが、このロータリーで更に情報を得て、奉仕活動に積極的に取り組みたいと思っています。軽率で幼稚な発言がありましたら、どうぞ後ほど叱ってください。ロータリーの魅力のひとつは先輩がたからの叱咤だと思っております。